

平成27年県民意識調査結果の概要について

■調査の概要

1 調査目的

この調査は、行政活動の評価に関する条例（平成13年宮城県条例第70号）第7条の規定により、県が行う取組について、県民の皆さまの重視度や満足度などを調査し、その結果を県の政策評価・施策評価などに活用するため実施したものです。

2 調査対象

宮城県に居住する20歳以上の男女 4,000人（選挙人名簿等から無作為抽出）

3 調査方法

郵送方式

4 調査期間

平成27年12月8日（火）から平成27年12月28日（月）まで

5 調査項目

- 「宮城県の復旧・復興の進捗状況」に関する項目
- 「宮城県震災復興計画」に基づく7分野23の取組の重視度及び満足度等に関する項目
- テーマ別項目（「東日本大震災の記憶の風化」、「廃棄物等の3Rと適正処理」、「宮城の食」）ほか

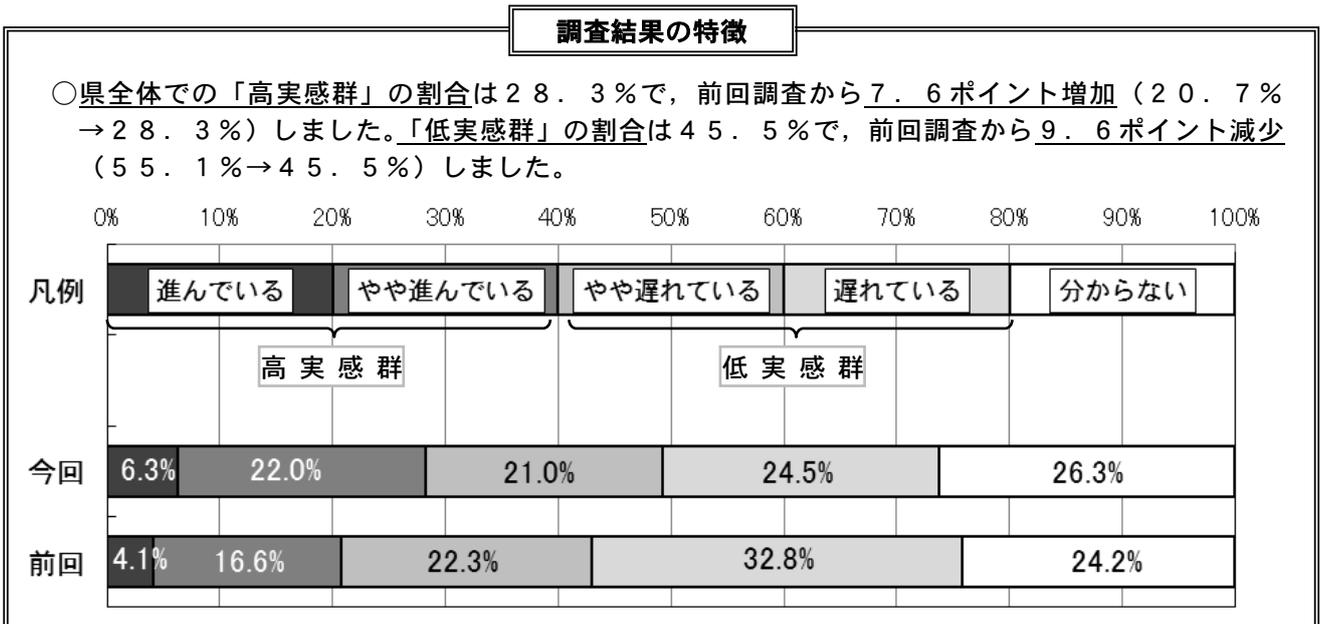
6 回収結果

回収数：1,911通（前回：1,816通）
回収率：47.78%（前回：45.40%）

■調査結果の概要

1 宮城県の復旧・復興の進捗状況について

宮城県の全般的な復旧・復興の進捗状況について調査したもので、調査結果の特徴は、次のとおりです。



※「高実感群」は「進んでいる」、「やや進んでいる」と感じる割合、「低実感群」は「遅れている」、「やや遅れている」と感じる割合である。

2 宮城県震災復興計画について

「宮城県震災復興計画」に基づく取組の重視度及び満足度等について調査したもので、調査結果の特徴並びに「高重視群」、「満足群」及び「不満群」の割合が高い取組は、次のとおりです。

調査結果の特徴

- 県全体**では、「高重視群」及び「満足群」で「未来を担う子どもたちへの支援」,「不満群」で「海岸, 河川などの県土保全」の割合が最も高くなっています。
- 沿岸部**について上位5位で県全体と異なる取組は、「高重視群」で「大津波等への備え」が3位,「満足群」で「だれもが住みよい地域社会の構築」が5位となっています。
- 内陸部**について上位5位で県全体と異なる取組は、「高重視群」で「安心できる地域医療の確保」が5位となっています。

高重視群・満足群・不満群の割合が高い取組

○県全体

順位	高重視群	満足群	不満群
1位	○未来を担う子どもたちへの支援(1)	○未来を担う子どもたちへの支援(1)	○海岸, 河川などの県土保全(4)
2位	○防災機能の再構築(3)	○大津波等への備え(3)	○沿岸市町をはじめとするまちの再構築(2)
3位	○海岸, 河川などの県土保全(7)	○安心できる地域医療の確保(5)	○被災者の生活環境の確保(3)
4位	○安全・安心な学校教育の確保(4)	○上下水道などのライフラインの整備(2)	○雇用の維持・確保(1)
5位	○だれもが住みよい地域社会の構築(9)	○道路, 港湾, 空港などの交通基盤の確保・整備促進(7)	○持続可能な社会と環境保全の実現(5) ○道路, 港湾, 空港などの交通基盤の確保・整備促進(7) ○防災機能の再構築(8)

○沿岸部

順位	高重視群	満足群	不満群
1位	○未来を担う子どもたちへの支援(2)	○大津波等への備え(2)	○海岸, 河川などの県土保全(1)
2位	○防災機能の再構築(5)	○未来を担う子どもたちへの支援(1)	○沿岸市町をはじめとするまちの再構築(3)
3位	●大津波等への備え(1)	○安心できる地域医療の確保(4)	○道路, 港湾, 空港などの交通基盤の確保・整備促進(4)
4位	○海岸, 河川などの県土保全(4)	○上下水道などのライフラインの整備(3)	○被災者の生活環境の確保(6)
5位	○だれもが住みよい地域社会の構築(10)	●だれもが住みよい地域社会の構築(10) ○道路, 港湾, 空港などの交通基盤の確保・整備促進(8)	○雇用の維持・確保(2)

○内陸部

順位	高重視群	満足群	不満群
1位	○未来を担う子どもたちへの支援(1)	○未来を担う子どもたちへの支援(1)	○海岸, 河川などの県土保全(8)
2位	○防災機能の再構築(3)	○大津波等への備え(3)	○持続可能な社会と環境保全の実現(4)
3位	○安全・安心な学校教育の確保(2)	○上下水道などのライフラインの整備(2)	○被災者の生活環境の確保(1) ○雇用の維持・確保(3)
4位	○海岸, 河川などの県土保全(9)	○安心できる地域医療の確保(5)	—
5位	●安心できる地域医療の確保(6)	○道路, 港湾, 空港などの交通基盤の確保・整備促進(8)	○防災機能の再構築(6)

※「高重視群」は「重要」、「やや重要」と回答した割合,「満足群」は「満足」、「やや満足」と回答した割合,「不満群」は「不満」、「やや不満」と回答した割合である。

※()は, 前回調査の順位である。

※●印で示した取組は, 県全体で上位5位以内ではないものの, 沿岸部・内陸部で上位5位以内となった取組である。